

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	その他	授業の方法	講義実習
科 目 名	災害看護・国際看護		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	2年生教室・学外(米国)
担 当 教 員	中原 眞理子 2年担任	実務経験と その関連資格	医療施設にて看護師として勤務していた。			
《授業科目における学習内容》						
災害看護では、災害の特徴を理解し、災害サイクルに応じた看護の役割を学ぶ。また、国際看護では世界の健康問題や現状を知り、国際協力の活動の実際を理解する。海外研修に参加し、国際看護について理解できる。						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験、海外研修参加レポートで評価。災害看護学50点 国際看護学50点(単位認定試験20点、レポート課題20点、グループ発表10点)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
統合分野 看護の統合と実践[3]災害看護学・国際看護学(医学書院)						
《授業外における学習方法》						
シラバスに沿って次回授業についての予習を行い授業に臨む。授業後は配布資料・ワークシートや教科書での復習を行う。						
《履修に当たっての留意点》						
近年、国内外においての災害が頻発している。日頃から災害の情報やニュースに関心を持ってほしい。海外研修参加は必修です。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	1. 災害の定義、種類と特徴を理解できる。 2. 災害サイクルと災害保健医療活動について理解できる。	テキスト 配布資料 課題シート DVD プロジェクター等	事前課題 テキストの第2章災害看護学のB災害医療の基礎知識を読んでおく。(30分) 事後課題 講義を復習し課題シートをまとめる(30分)	
	各コマに おける 授業予定	災害の理解				
第2回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	1. 災害看護の定義を理解できる。 2. 災害看護の対象について理解できる。 3. 災害看護に関係する災害関連の制度が理解できる	テキスト 配布資料 プロジェクター等	事前課題テキストの第2章災害看護学のB災害医療の基礎知識を読んでおく。(30分) 事後課題 講義を復習する。(30分)	
	各コマに おける 授業予定	災害看護の基礎知識				
第3回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	1. 災害対応にかかわる職種間・組織間連携が理解できる。 2. 災害情報の種類と内容について理解できる。	テキスト 配布資料 ワークシート プロジェクター等	事前課題 テキストの第2章災害看護学のC災害看護の基礎知識を読んでワークシートをまとめておく(30分) 事後課題 講義を復習する。(30分)	
	各コマに おける 授業予定	災害時の支援体制、医療体制				
第4回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	1. 災害後の被災者のストレスと援助について理解できる。 2. 援助者のストレスとその軽減のための工夫について考える。 3. 災害時における倫理課題について考える。	テキスト 配布資料 課題レポート プロジェクター等	事前課題 テキストのF災害とこころのケアについて読んでおく。(30分) 事後課題 講義を復習し課題レポートを提出する。(30分)	
	各コマに おける 授業予定	災害とこころのケア、災害時の倫理				
第5回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	1. 急性期における健康障害と看護師の役割について理解できる。 2. トリアージの基本的知識と方法について理解できる。	テキスト 配布資料 DVD プロジェクター等	事前課題 テキストの第2章災害看護学のD災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護の急性期・亜急性期を読んでおく(30分) 事後課題 講義を復習する。(30分)	
	各コマに おける 授業予定	災害サイクルの急性期の看護				

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	1. 亜急性期における健康障害と看護師の役割について理解できる。	テキスト 配布資料 演習シート プロジェクター等	事前課題 テキストの第2章災害看護学のD災害サイクルに応じた活動現場別のトリアージを読んでおく(30分) 事後課題 講義を復習する。(32分)
	各コマにおける授業予定	災害サイクル亜急性期の看護		
第7回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	1. 慢性期における健康障害と看護師の役割について理解できる。 2. 活動場所の違いにおける看護職の役割について理解できる	テキスト DVD 演習シート プロジェクター等	事前課題 テキストの第2章災害看護学のD災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護、慢性期・復興期を読んでおく。(30分) 本日の講義を復習する。(30分)
	各コマにおける授業予定	災害サイクル慢性期の看護		
第8回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	1. 静穏期における健康障害と看護師の役割について理解できる。 2. 防災減災について考える。	テキスト DVD プロジェクター等	事前課題 テキストの第2章災害看護学のD災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護、静穏期を読み課題シートに記載する(30分) 事後課題 講義を復習し課題シートをまとめて提出する。(30分)
	各コマにおける授業予定	災害サイクル静穏期の看護、防災・減災		
第9回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	国際救援活動について理解できる。	テキスト ワークシート DVD プロジェクター等	テキストの第4章 A国際看護学の定義 Bグローバルヘルスを読んでおく(30分) 本日の講義を復習する。(30分)
	各コマにおける授業予定	国際看護学の定義、基礎知識、グローバルヘルスについて		
第10回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	国際救援活動について理解できる。	テキスト ワークシート DVD プロジェクター等	テキスト該当ページを読んでおく(30分)本日の復習を行う。レポート提出(30分)
	各コマにおける授業予定	国際救援と看護について		
第11回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	ビデオ学習を通して国際看護について理解を深める。	テキスト ワークシート DVD プロジェクター等	テキスト該当ページを読んでおく(30分)本日の復習を行う。レポート提出(30分)
	各コマにおける授業予定	①国際看護を学ぶ意義 ②国際機関と世界のつながりを視聴し、レポート課題をまとめる		
第12回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	ビデオ学習を通して国際看護について理解を深める。	テキスト ワークシート DVD プロジェクター等	テキスト該当ページを読んでおく(30分)本日の復習を行う。レポート提出(30分)
	各コマにおける授業予定	③世界を視野に入れた看護の現場④世界で活躍する看護のプロフェッショナルたちを視聴しレポート課題をまとめる		
第13回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	日本の制度を知り自国についての理解を深めることができる	テキスト ワークシート DVD プロジェクター等	テキスト該当ページを読んでおく(30分)本日の復習を行う。レポート提出(30分)
	各コマにおける授業予定	日本の看護制度・国民皆保険制度・日本の健康問題についてレポートをまとめる		
第14回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	看護職にとって国際的な視点を持つ意義について考えることができる	テキスト ワークシート DVD プロジェクター等	テキスト該当ページを読んでおく(30分)グループで発表準備を行う(30分)
	各コマにおける授業予定	グループで発表の準備を行う		
第15回	講義実習形式 授業を通じての到達目標	看護職にとって国際的な視点を持つ意義について考えることができる	テキスト ワークシート DVD プロジェクター等	グループで発表準備を行う(30分)本日の復習を行う(30分)
	各コマにおける授業予定	グループ発表		